

定住促進

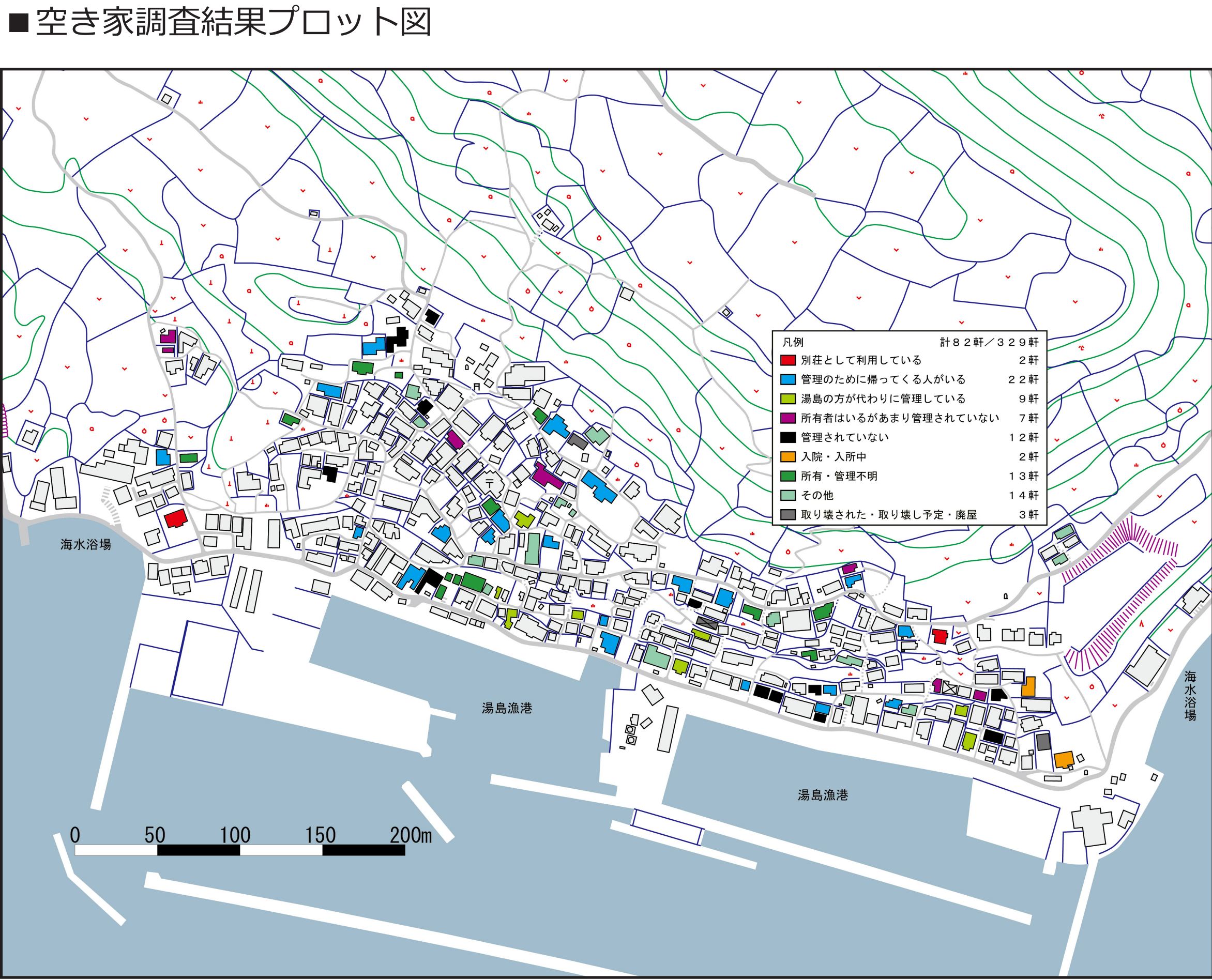
①空き家活用調査

空き家の実態調査を行い、82軒を確認した。



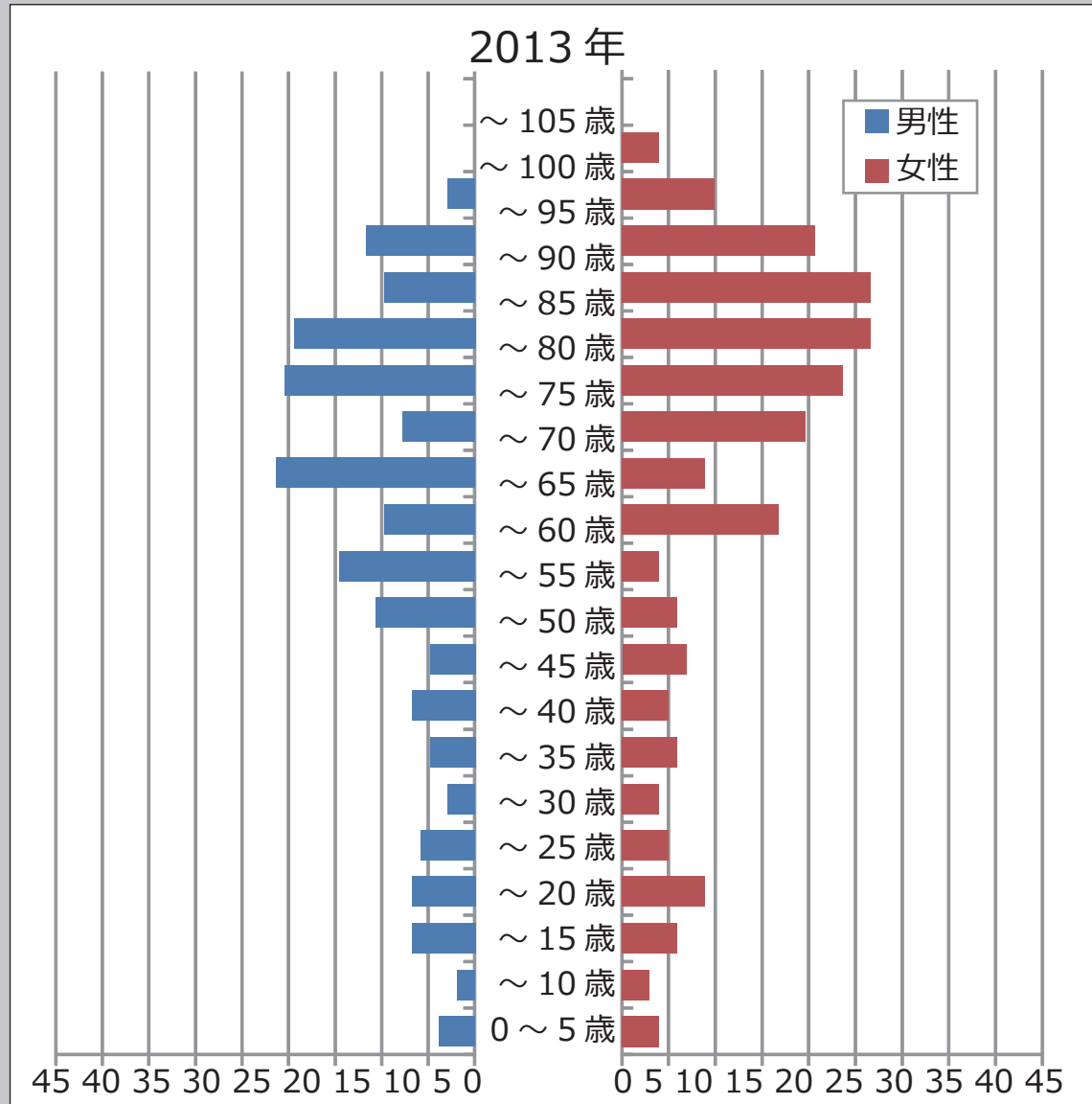
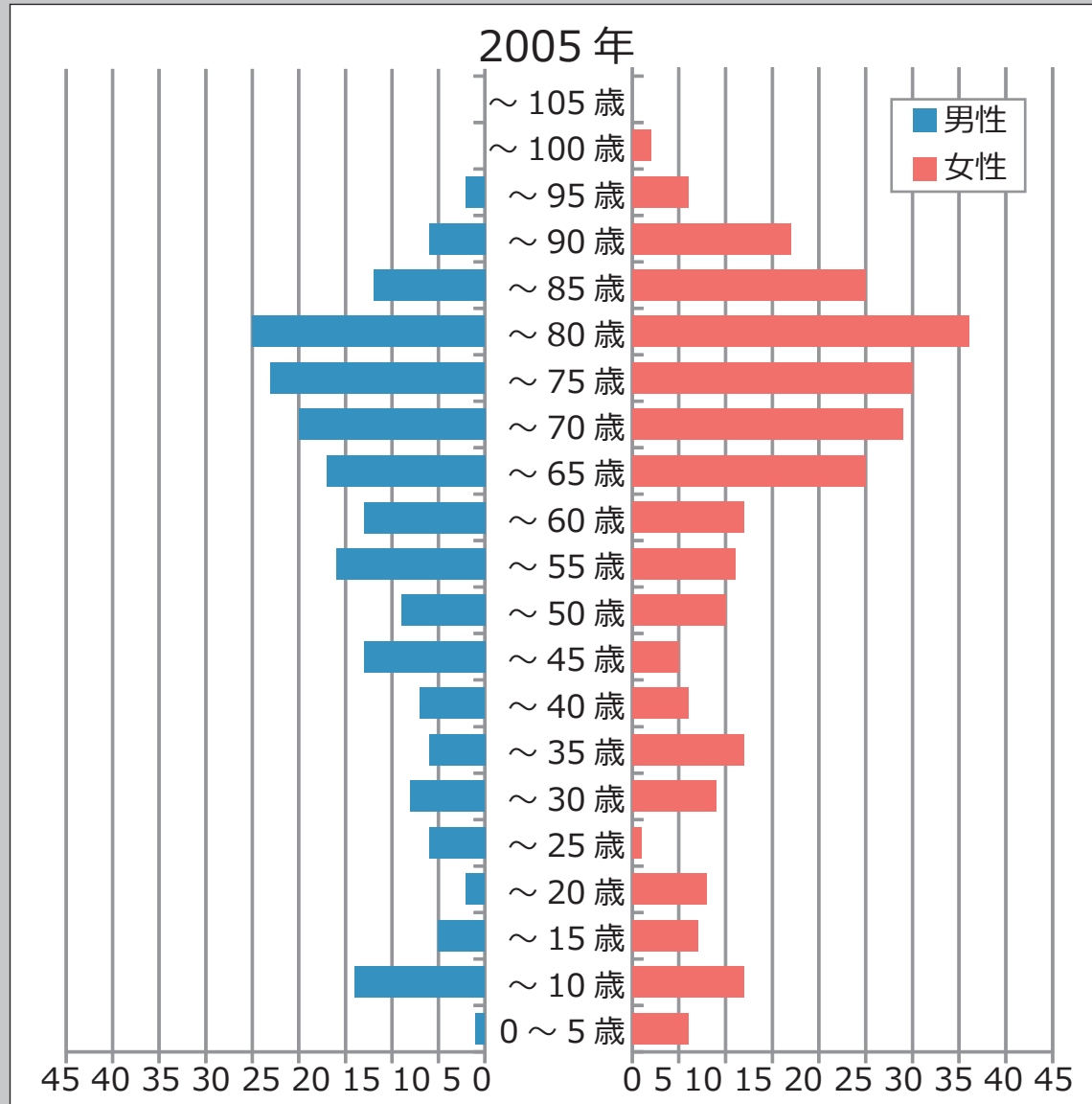
■建築設計の研究室の調査の様子

■地元の方と共に
空き家の調査を実施



湯島の現状と課題

■人口の現象、過疎、少子、高齢化



■湯島の観光客数 (単位：人)

	2010年	2011年	2012年
宿泊客数	2,242	2,195	2,089
日帰り客数	13,614	13,333	13,603
合計	15,856	15,528	15,692

■課題

昭和40年代に比べれば、子供が少なく子供は塾や部活で忙しいのだから、海水浴なんて来る家族は減る一方。一泊してタイ釣りして宴会して帰る、なんてサラリーマンは少ない。
人口は減り、空き家の管理もできなくなりつつある。

お金をかけず、生業の延長でできる地域おこしの方法

- 大学生に合宿してもらう。
- 無料コンサート開催 (練習発表の場)
- それを一般観光客が楽しむ

その準備として、...

■合同合宿説明会の開催

大学生へのアンケート調査から合宿キャンプの準備時期は開催時期の2、3ヶ月前頃から最も多く、また開催時期は早い所でも7、8月の実施となっているので、5月頃が説明会の適当な開催時期である。

★魅力と可能性を感じてもらい定住、またはセカンドハウス所有へ

そのためのNPOを設立

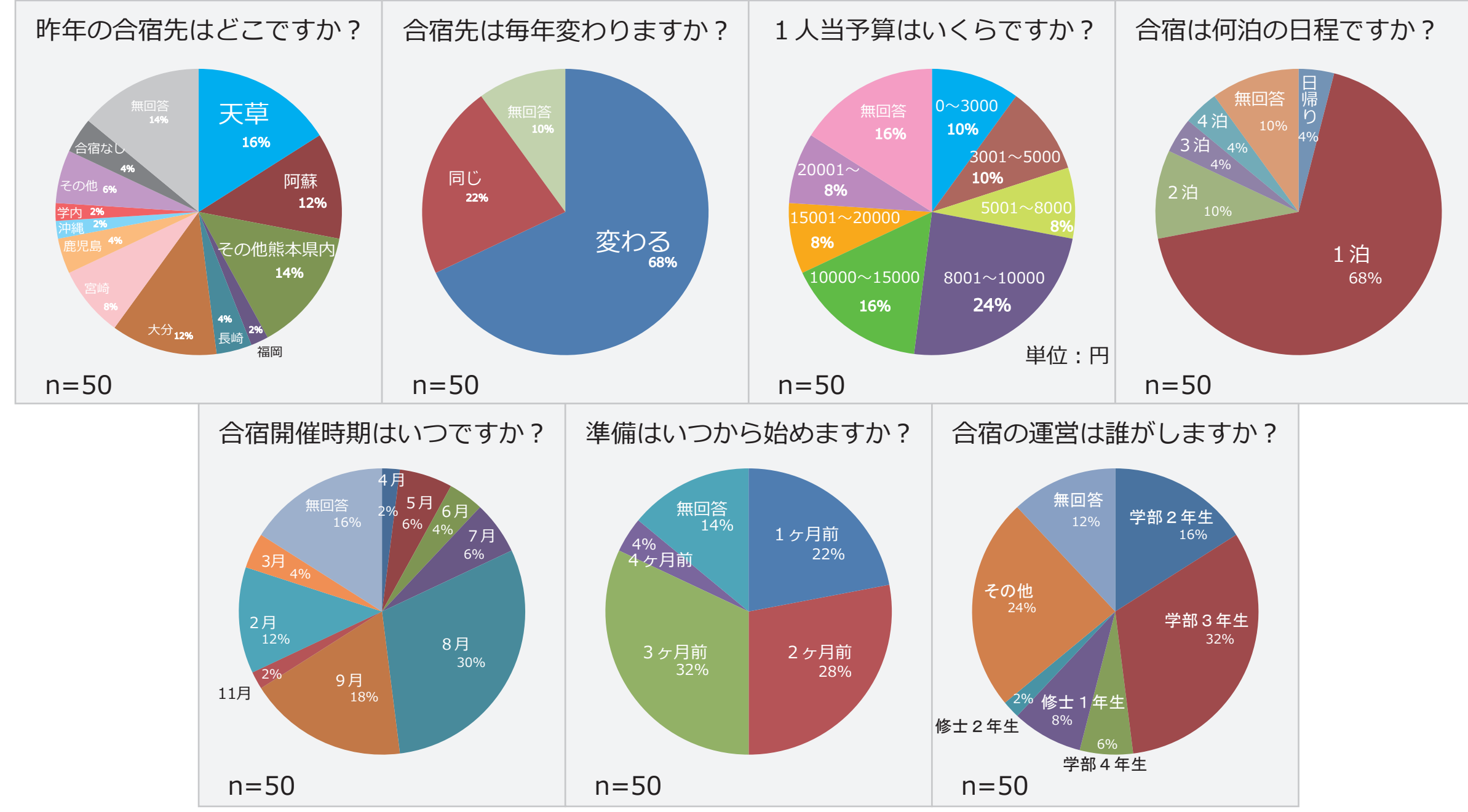
■施策による効果

- 学生側の効果
- ①合宿などにかかる経費負担の軽減
 - ②安定した合宿場所の確保
 - ③地元の人との交流による人間形成
 - ④地域への貢献 (調査や提言、演奏披露)
 - ⑤研究の促進
 - ⑥実務体験 (設計など)
- 地元側の効果
- ①学生との交流による刺激
 - ②一般観光客の増加
 - ③経済効果 (学生の宿泊費、観光客の増加など)
 - ④子どもの教育機会創出 (学生によるスポーツや楽器演奏の指導)
 - ⑤お金をかけずにイベントを実施/学習機会の確保

交流促進

②文化イベントのある夏休み調査

熊本県内の大学7校の学生に協力を依頼し、所属する部活やサークル・団体で行われる合宿やキャンプ等のアンケートを行った。



合宿の目的にもよりますが、地域の人と交流して、そこに住んでいる人しか分からないようなことを教えてもらうのもおもしろいと思います。
自分の価値観を広げることができるから
地域の人達と交流できるとまた来たいと思えるし、来た時にサービスしてくれそうだから。
地元ならではの情報が聞けそうだから
部活動ならば試合の相手が見つかったり、練習場を借りることが出来たり、新しい可能性が広がるかも知れないから
面白い話が聞けそうだから
良い経験になると思うから



■研究室キャンプ



■マンドリン練習



■マンドリンコンサート

実験してみました。

- 365歩のマーチ
- 川の流れるように
- 山嶽詩
- 見上げてごらん夜の星を
- ルーージュの伝言

シニア向けの選曲がよかった！



■写真教室



■地学教室

■湯島での合宿スケジュール

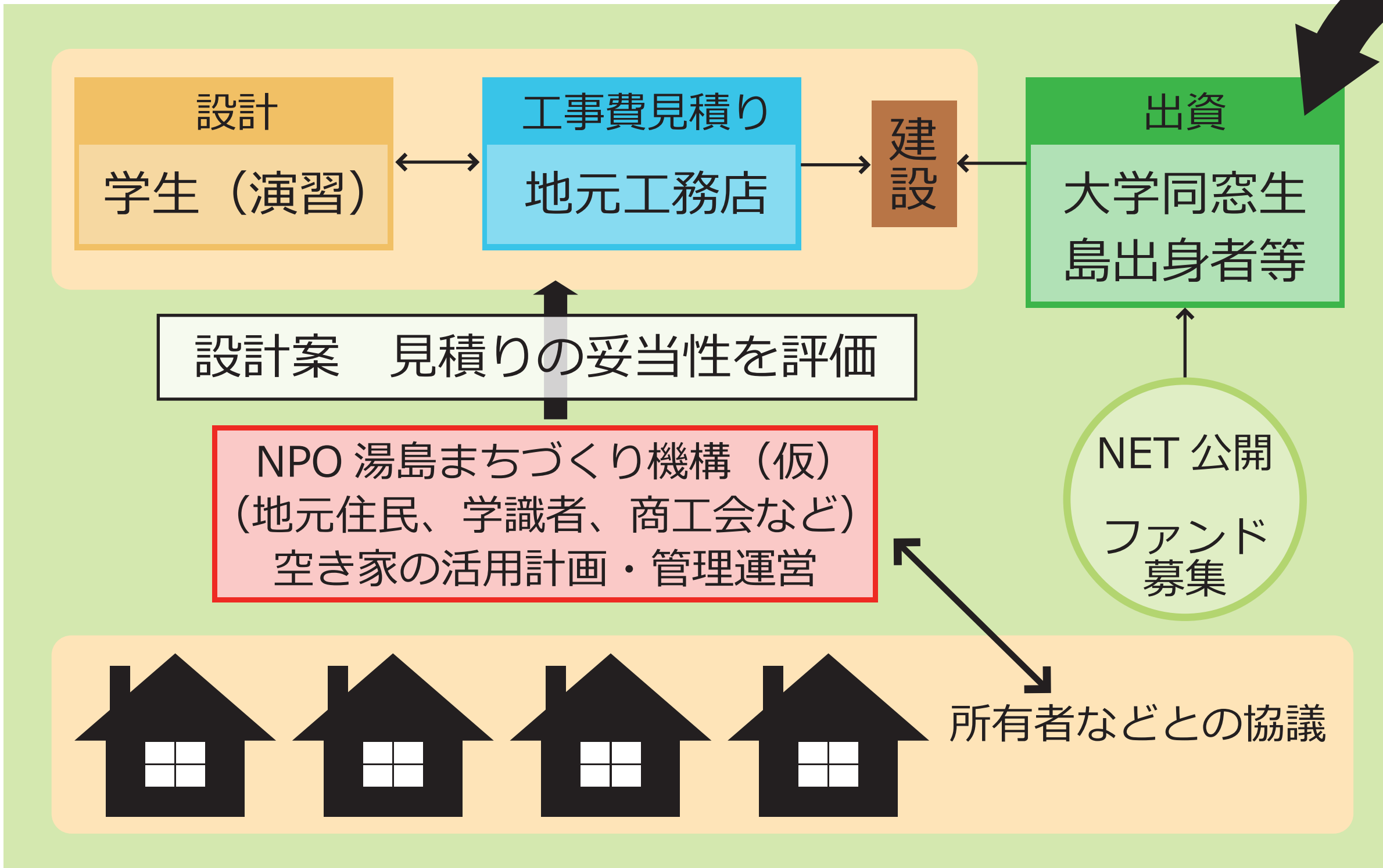
	7月	8月	9月
音楽	ギター マンドリン	吹奏楽 ジャズ	オーケストラ Djambé-KAN
文化	映画 カメラ	落語 英会話	人形劇 パフォーマンス書道
スポーツ	バドミントン 卓球	バレエ バスケットボール	サッカー ソフトボール
その他	ウミガメ保護活動 天の川観測	水辺の生物観察	ウミガメ保護活動 流星群観測
ゼミ	観光客調査	設計案発表会	
		長崎一熊本学生合同研修	海洋生物研究会

所有者のニーズ

- ①土地は手放したくない
 - ②管理は大変
 - ③家屋が古くなり、周囲に迷惑をかけている
 - ④タダでも良いので使ってほしい
 - ⑤解体費用は出たくない
- といった意向であることが分かった。

大学のニーズ

- 実践的な教育ができるフィールドが欲しい。
- 学生のコミュニケーション能力の向上
- 大学の対社会貢献



自治体が少しの補助を出す (四郎世代を育てる) → ターゲットはボリュームの大きなシニア ← A列車 (Adult, Amakusa) が象徴！

1人当千円 × 10人 × 50組 = 50万円

50万円 × 3自治体 = 150万円
宇土・上天草・天草 連泊も可能に。

「A列車」にしても、「ななつ星」にしてもお客は都市部で増大するシニア層にターゲットを絞っている。
学生は年中来れるわけではない。金もない。四郎世代の若者を育て、その親や祖父母の世代を呼び込む。(海老でタイを釣る。)



■A列車でプチセレブ



■美味しいお煮付け食べたい